新規事業箇所調書

調書作成年月日 平成20年 2月12日

事 業 担 当 課 港湾課

事業名臨港道路整備事業 西ふ頭6号線補助・単独の別補助・単独の別補助・事業主体宮城県・塩竈市施行地名仙台塩釜港塩釜港区 貞山地区 塩竈市港町一丁目地内管理主体宮城県

根拠法令 みなと振興交付金要綱

事業目的

「みなとオアシス・マリンゲート塩釜」の観光桟橋,旅客ターミナルと塩竈市のみなとまちづくりの計画の「海辺の賑わい地区」が一体となって活性化を図り,港湾利用者の回復とみなと振興を目的とする。

事業内容

事

基幹事業(宮城県) 臨港道路改良(交差点改良・道路改良)幅員12.0m,延長500m 提案事業(塩竈市) モニュメント設置 9 基,情報発信施設設置 2 基

業

事業費

の

全体事業費			j	費用負	担 内 訳	
			国	県	市町村	その他
						()
		内用地費	[47.0%]	[53.0%]	[]	[%]
	2.00億円	0.05億円	0.94億円	1.06億円	億円	億円

概

事業期間

要

事	業	期	間	平成 2	0 年度	~ 平成	2 4 4	年度	(5	年間)		
用地	用地買収着手予定年度			平成 2	1 年度	工事	着手	予	定年	度	平成 2	1	年度

施設管理の予定

基幹事業施設は宮城県,提案事業施設は塩竈市が管理する。

上位計画等

土木行政推進計画(宮城県土木部)

事業を巡る社会経済情勢等

事

社会経済情勢

業

観光の多様化等により,塩釜港区の船舶乗降員数が平成3年(137万人)をピークに減 一少し,平成18年は53万人となっている。

また、マリンゲート塩釜の入場者数は開場年の次の年である平成9年(174万人)をピ ークに減少し,平成18年に109万人となっている。

必

ത

地元情勢、地元の意見

塩竈市では平成15年度に塩竈ヴェネツィア計画を策定し,それに位置づけられた「海辺の賑わ い地区」を港町の特殊性を活かした住宅・商店・事業所の再整備を進め,定住人口を定着す るとともに飲食業を中心とした商業・サービス施設の集積や個性ある便利で賑わいのある空 間の創出などを図っていく地区とし区画整理事業を行っており,平成19年5月25日に大 性 |型ショッピングセンターがオープンした。

地元の要望としては同地区と、「みなとオアシス・マリンゲート塩釜」との一体となった 振興を求めており,その障害となるマリンゲート塩釜前の交差点を改良が熱望されている。

事業効果

事 業

想定される事業効果

有 効 性

本事業は、「みなとオアシス・マリンゲート塩釜」の観光桟橋、旅客ターミナルと「海辺 |の賑わい地区」が一体となり振興が図られることを目的とし,基幹事業として接続路線の交 差点改良及び道路改良を行い、主要路線とのアクセス向上により、観光バス、自家用車等の 交通の利便を図り,賑わうみなとづくりの推進とマリンゲート塩釜入場者,船舶乗降人員数 の回復等の効果を目的とする。

マリンゲート塩釜入場者数 109万人(H18) 120万人(H24) 船舶乗降員数 5 3 万人 (H18) 58万人(H24)

関連事業の概要・進捗状況等

事

塩釜海辺の賑わい地区土地区画整理事業

事業期間 平成14年度 ~ 平成23年度

事業面積 7.43 h a 事業費 45億円

進捗率 65%(H19末)

業 ഗ

代替案との比較検討

効

区画整理事業との連携による交差点改良により、単独での整備と比較し事業費面で優位と なった。

淧

コスト縮減計画

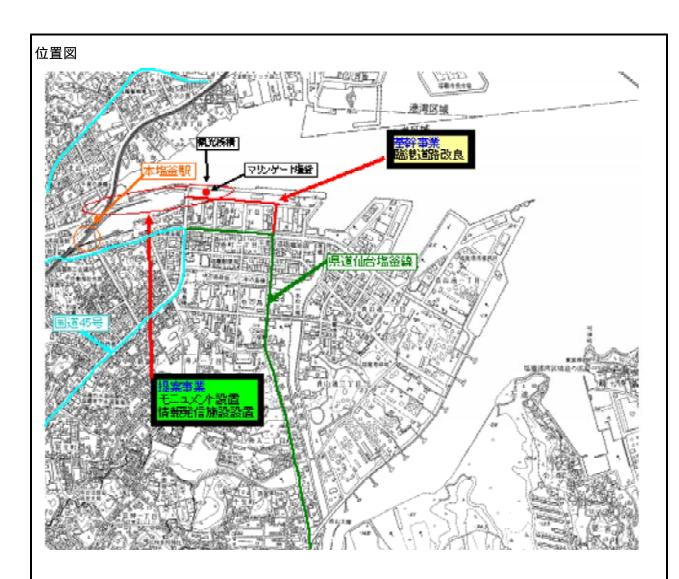
性

道路構造令に従いながらもコンパクトな設計を行い、改良面積を縮小しコスト縮減を図る。

費用対効果

事業規模が小規模であるため算出しない。

	地域指定状況等
環 境	特になし
0	
影響と	影響と対策
対策	特になし
	事業箇所評価結果
総	
合	評点による順 予算化された箇所数 評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 位 (低順位にもかかわらず予算化された理由)
	港湾事業(臨港道路整備事業)事業
評	(新規事業箇所) -
"'	- 位 / - 1 箇所
価	
	対応方針



航空写真





